



# 捨てられた犬や猫に 救いの手をさしのべる

## 日本の動物福祉の改善を目指すNPOが運営「篠山アーク」

撮影：原田京子  
www.kyoko-harada.tv



日本では飼い主の離婚や入院、ブリーダーの倒産、問題行動を起こして捨てられる、災害など、さまざまな理由により、年間10万頭以上もの何の罪もない犬や猫たちの命が絶たれています。そんな動物たちを保護し、社会化トレーニングを行い、新しい飼い主(里親)を見つけるための活動をしている動物救援組織「NPO法人アーク(アニマルレフュージ関西)」が運営している「篠山アーク」取材しました。

### 篠山アーク

今回取材した篠山アークは、羽束川の清流や緑に囲まれた後川下の集落のほずれにありま。さまざまな理由で保護した犬の心身のケア、社会化トレーニング、里親探しなどを行っています。

2014年から施設の稼働が始まり、現在は、2棟の犬舎やトレーニングのためのドッグランなどが整備され、約50頭の犬が生活しています。排水や下水設備も完備し、用地面積約1万平方メートルの広大な敷地はまるで公園のようです。犬舎は国際的な動物福祉水準の最高レベルの造りで、日本では初の試みとのこと。

里親を探す間の一時的な保護センター機能だけでなく、高齢・人間不信などの理由により里親募集は行わず、アークで生涯を過ごす終生飼育施設でもあります。

### 日本の動物福祉の改善を目指す

「日本には、傷ついた動物たちを受け入れるセーフティネットや、動物に対する教育のための施設が圧倒的に少ない」と話す理事長のエリザベス・オリバーさんは、動物福祉の歴史とペットの飼育に対して高い水準を誇るイギリスの出身です。日本には英語教師として来日しま

トラストとアークは協力して犬のトレーニングのワークショップを共同開催するなど、新しい試みを行っています。

### 篠山アーク、まだまだ夢の途中

篠山アークでは動物のお世話の他にも、里親や支援者の皆さんを招いたイベントなども定期的に計画されています。しかし、今のところは常駐しているスタッフが大阪府能勢町にある施設(大阪アーク)から通われていて、見学や面会などの対応は直接することはできません。オリバーさんは篠山アークについて「後川は自然が豊かで、景観もすばらしいところ。これからは順次、ピクニック場、クリニックなども整備し、ゆくゆくは管理者を置き、国際水準の動物福祉センターにしたい」と話していました。

このような活動を、より多くの皆さんに知っていただき、支援の輪が広がることで整備が進み、国際水準の動物福祉センターという夢を早く実現してほしいと思います。また、これらの施設整備の他にも「動物の権利を主張し、効力のある動物保護法制定のために活動を続けていきたい。そのためには、子どもたちへの教育も大切。施設を見てもらうって理解を深めてもらおうなこ



リポーター 倉 恵子さん(後川中)

したが、母国と驚くほど違う日本の状況を目の当たりにし、日本の動物の状況を変えることが自身の使命だと決心し、1990年に団体としての活動を開始しました。以来、年間に200頭以上(これまで通算で5000頭以上)の動物と里親を結びつけています。

1995年の阪神・淡路大震災では、600頭を超える動物たちを受け入れ、この様子がマスコミに取り上げられ、多くの援助が集まるようになりまし。現在、正会員数は3000人に及び、企業からの援助なども受け、さらなる活動の幅を広げようとしています。

2014年にはかねてから交流があったイギリスの犬の保護団体のドッグス・トラストの支援を受け、同年1棟目の犬舎を、さらに2017年には2棟目の犬舎を完成させました。それ以降、ドッグス・

とも取り組みたい」と話していました。

### 17歳の「クリ」

私も以前、動物と関わる仕事をしていました。「動物たちの不安やストレスを解消することで、多くの問題行動は解決できる」「ペットは家族の一員」とオリバーさんが話していたのが特に心に残りました。私もそのとおりだと思います。

ブリーダーの倒産、飼い主の離婚や病気など、こういった施設が必要となるのは、人間の都合によるものが多いと思います。

今回、犬舎を案内していただいた際に、17歳の「クリ」に出会いました。今年、長寿犬として摂丹獣医師会と篠山市から表彰されるそうです。東日本大震災の津波により、福島県で被災した犬ですが、気持ちよさそうに昼寝から目覚めた表情をみると、篠山アークに関わる皆さんの温かい気持ちを感じました。

このような活動を、多くの皆さんに知ってもらい、もっともっと支援の輪が広がってほしいと思います。

ホームページ  
http://www.arkebark.net/  
「アニマルレフュージ関西」で  
検索

## 篠山アーク同窓会 2017 (5月28日)

撮影：原田京子 www.kyoko-harada.tv



里親が決まるまでの間の 社会化トレーニング



理事長のエリザベス・オリバーさん



17歳の「クリ」



広いスペースが確保された犬舎を案内してもらいました。お掃除も行き届き、とても清潔です。寝室の一部には、床暖房も完備。さすが国際水準の施設です



篠山アーク外観